

2023年 曼珠沙華まつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選（一般の部）

赤く燃えてなぜか悲しきヒガン花 川崎市 野上 悦男

評 彼岸花は美しさ・妖しさ・悲しさといろいろな面をもっている
と思われまます。その一面を捉えました。

黄緑の茎立て並ぶ曼珠沙華 府中市 山本 郷江

評 色彩を生かして一句に仕立てました。

この里を守りきし祖や曼珠沙華 府中市 芝 喜久子

評 代々守り継いできた祖先がいて現在のこの地があることを
畏敬をもって偲んでいます。

母といた日の短さよ曼珠沙華 東村山市 富山 勉

評 お母様は早く亡くなられたか何らかの事情で共に過ごした期間が
短かったのでしょうか。それに曼珠沙華が取り合われましました。

レンズ越し妖しく揺れる曼珠沙華 柏市 齋藤 久美子

評 曼珠沙華はただ美しいだけでなく、確かに妖しさを秘めている
感じます。

佳作（一般の部）

いち早く季節織りなす曼珠沙華 府中市 高柳 玲子

生きていることの幸せ曼珠沙華 府中市 山田 節子

合歡の実の庚申塔へ影落し 府中市 志田 礼子

石の橋とびこえる時ヒガンバナ 府中市 飯田 愛子

雨霏湛へ色めく彼岸花 府中市 城間 郁代

久びさに訪へば鮮やか曼珠沙華 府中市 河内 和子

群れ咲ひて蕊のもつるる彼岸花 府中市 前原 直子

ハケ下の流れに濡るる曼珠沙華 府中市 西ノ宮 武

昨日来て今日も来たりし曼珠沙華 府中市 保坂 俱孝

瀬音にもしづかに白き曼珠沙華 府中市 小室 清恵

（小中学生の部）特選・佳作の該当者なし

（敬称略 順不同）

【榎本 達】 昭和二三年東京都府中市生まれ。市村完一郎に師事。

俳人協会会員。